

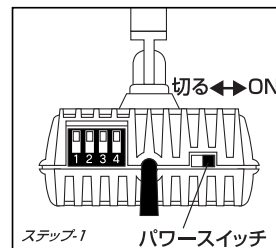
L端子検出方式への変更

ステップ 1

アンテナユニットのパワースイッチを切ります。

注意

すでに付属の安全センサーケーブルがエンジンスターター本体に接続されている場合は、一旦外してから作業を行って下さい。安全センサーケーブルは、必ず本機に同梱されたものを使用して下さい。他の商品のものを流用することは出来ません。

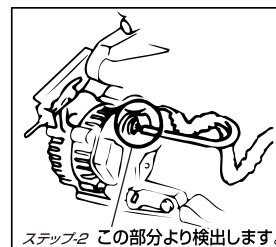


ステップ-1 パワースイッチ

ステップ 2

車のオルタネーターから出ているL端子線を探します。

L端子線とは、イグニッションONの位置でエンジンが停止しているとき、約1～3V、エンジンが駆動しているとき、約12～14Vになる線です。(必ずテスターをご使用下さい。)



ステップ-2 この部分より検出します。

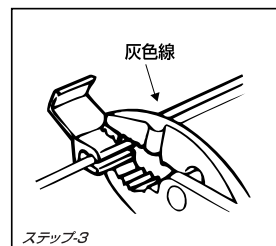
ステップ 3

安全センサーケーブルの灰色線を接続します。

安全センサーケーブルの灰色線をグロメット等を利用して、車室内からエンジンルーム内に引き込み、オルタネーターから出ているL端子線に接続します。(付属のエレクトロタップ使用。)

警告

接触不良が起きないように確実に取り付けて下さい。なお、エレクトロタップは防水のためテーピングして下さい。灰色線が車体の金属部分に触れると、ショートを起こし車両故障の原因となる恐れがあります。



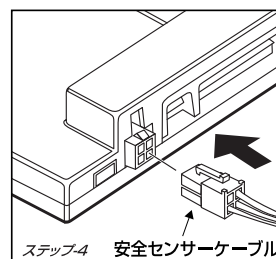
ステップ-3

ステップ 4

安全センサーケーブルをエンジンスターター本体のコネクター部(CN2)に接続します。

以上でL端子配線は終了です。

アンテナユニットのパワースイッチをONにしてリモコンで問題なくエンジン始動出来ることを確認して下さい。



ステップ-4 安全センサーケーブル

始動検出方式の切替

エンジンは始動していないのにメーターパネルが点灯したままになってしまう場合は、「L端子検出方式への変更」を行ってから始動検出方式を特殊モードに切り替えて下さい。

注意

必ず『L端子検出方式への変更』を行ってから変更して下さい。始動検出方式を特殊モードへ切り替えた場合は、「キー始動学習機能の設定」を行ってもスターターモーターの駆動時間は学習されません。

ステップ 1

アンテナユニットのパワースイッチを切ります。

ステップ 2

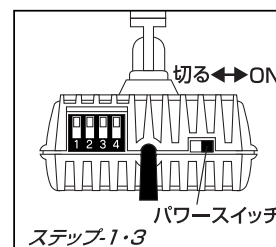
アンテナユニットのモードスイッチ3番を切り替えます。

(1)通常モードに設定する場合。

アンテナユニットの3番スイッチをOFFにします。

(2)特殊モードに設定する場合。

アンテナユニットの3番スイッチをONにします。



ステップ-1・3



ステップ-2 (1) (2)

ステップ 3

アンテナユニットのパワースイッチをONにします。

以上で始動検出方式の切替は終了です。

リモコンで問題なくエンジン始動出来ることを確認して下さい。

オプション